

「ビバ・ラ・ロボリューション！」ピカピカと光を放つレトロフューチャー的な**+Brauer**のアップサイクル・ロボットがジュネーブの**MB&F M.A.D.Gallery**に

パリ在住のアーティストであるブルーノ・ルフェーヴル＝ブラウアー、別名**+Brauer** の 14 体の見事な彫像が **M.A.D.Gallery** で展示されます。

パリ郊外の伝統工芸や工業が発達した地域にあるアトリエで、**+Brauer** は約 10 年前に初めてロボット彫像を制作しました。この彫像の腕は鍵でできており、絶縁体で仕上げられたシンプルな金属ケースの中に納められていました。

彼は、過剰消費に対するいわゆる“詩的抵抗”から誕生した彫像に、本来は工業製品として使われた部品を使用します。時間の経過や度重なる使用によるキズや色あせはロボットに特別な個性を与え、それにより視覚的な面白みが一層増すのです。

+Brauer の芸術形式はアップサイクルと呼ばれ、資源を節約・再利用・再生させる画期的なコンセプトです。これによって本来の役割を果たした機械に第 2 の命をも与えます。

ピカピカと光を放つ**+Brauer** の彫像は、過去と未来から成る見事な驚くべき芸術的世界へと好奇心旺盛な観客を導きます。そして、意図された使い方をされなくなった物でも、価値がないわけでは決してない、ということに気づかせるのです。

方法とプロセス

+Brauer は、廃墟となったアトリエや自動車修理工場で見つけた古い機械の部品を使用し、新たな形を与えます。何年にも渡って部品を集めており、自身で発見した物や中古品、スクラップディーラーから購入した物など相当数のコレクションを有しています。さらに、友人や同業者たちも彼に協力しており、物を提供することもあります。**+Brauer** はカルマポリタン誌にこのように語っています。「何年にもわたり部品を回収し、分類し、整理し、また保管してきました。この作業は、より自由な制作を可能にするために必ず通らなければならない段階なのです。」

時には、たった 1 つのアイテムを目にすることでインスピレーションを得て、新しい彫像が頭に浮かぶこともあります。その瞬間から、どのようなロボットを制作してどのような個性を与えたいのかははっきりとしています。ロボット制作はまず紙上のスケッチからはじまり、その後には床に置いた金属物で形を確認し、各要素がお互いに組み合わせるかどうか、調和するかどうかを試みます。

最初のスケッチの段階で、**+Brauer** は同時に照明デザインにも取り掛かります。同じくリサイクルされた資源から照明を作り、ロボットに備え付けるのです。これは簡単な作業ではありませんが、望む結果に辿り着くために、**+Brauer** は新たなチャレンジごとに方法を開発してきました。電気回路は最も複雑な部分ですが、この要素こそがロボットに生き生きした命を吹き込んでくれます。各ロボットは、それぞれ特別に設計された照明システムを備えています。

照明と電気部分が完成すると、金属面を窓状にカットし、組立工程を開始します。一緒に組み立てるように設計されていない金属部品を組み立てるのは非常に難しく、組み立て作業中に部品の調和がとれないこともあります。しかし、**+Brauer** はのこぎりや切断機、カット、溶接、ねじ留め、研磨といった技術で仕上げ、部

詳細お問い合わせ:

Juliette Duru, MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland

メール: jd@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 36.

品を精製・適合させます。時にはこの段階で何かが欠けていることに気づくこともあり、完成に必要なすべての部品が手に入るまで数ヶ月かかる彫像もあります。完成したロボットはそれぞれが世界にたった一つの作品です。

作品

M.A.D.Galleryに展示される14体のロボット彫像は、過去の資源から今日のアートを制作している**+Brauer**の重要な作品例です。全ロボットは「ビバ・ラ・ロボリューション！」コレクションに収集され、それぞれが非常に個性的な特徴を持っています。

スタニスラス、アーネスト、コンスタンティン、**Wast-E**、コスモス 2001、オルガ、バンビーノ、バルタザール、プレオロール、ブラック・フット、レオン、コモドール、ヘクトール、ロメオといった唯一無二のロボット作品であり、コレクションの大部分が **M.A.D.Gallery** のためだけに制作されました。

オルガをよく見てみると、かなり女性的であることがわかります。高さ **72** センチしかないオルガは重さ **7.2** キロですらりとしています。彼女は個性的な顔立ちで、部品としての本来の姿がほとんど想像できない装飾的でメカニックなまつ毛やイヤリングなどが見られます。

ドキドキと鼓動する大きな赤いハートと鮮やかな赤い瞳で、ロメオはまさにアウトサイダー・アートの恋人といった印象を与えます。観客は彼の愛を感じることはないとしても、確かにそれを見ることができます。

+Brauer - 経歴

グラフィックアートを専攻した**+Brauer** は、グラフィックアーティスト、画家、彫刻家として **20** 年以上活動。彼のスタイルは、好きな **SF** 小説やコミック、アメリカ **TV** 番組などの影響を受けています。特にフリッツ・ラング監督の『メトロポリス』の驚くべき世界や、スタンリー・キューブリック監督の『2001 年宇宙の旅』の壮大さに心酔。彼はまた、アウトサイダー・アートにも強い関心を持っています。

彼の作品は、好きな本、映画、**TV** 番組などからだけでなく、**20** 年間収集している日本製のロボットからもインスピレーションを得ています。

+Brauer の作品は、クリエイティブな雰囲気の名高いパリのマレ地区と、パリ市内外の様々なギャラリーで展示されています。彼自身のギャラリーの目の前には、**1407** 年に建てられたパリ最古の家があります。

詳細お問い合わせ:

Juliette Duru, MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland

メール: jd@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 36.